

2014年3月12日

東京都知事
舛添 要一 殿

日本野鳥の会東京 代表 川沢 祥三
公益財団法人日本野鳥の会 理事長 佐藤 仁志

東京五輪の葛西臨海公園カヌー競技場計画に関する公開質問状

時下、ますますご清祥のこととお慶び致します。

東京都知事ご就任をお祝い申し上げますとともに、首都東京の発展に向けてのご尽力に感謝いたします。

また貴職におかれましてはご就任に際して、2020年東京オリンピックについて、史上最高の五輪の実現を目指して準備することを表明され、私たち日本野鳥の会も環境保全と両立するオリンピックの開催を大いに期待しております。

さて、2020年オリンピックのカヌー競技場を葛西臨海公園に建設することが計画されています。ご承知のとおり都内は高度な開発が進み、昔ながらの自然はほとんど残っていません。そのような中、葛西臨海公園は昭和50年代の葛西沖開発土地地区画整理事業に伴って都が整備した人口の緑地ですが、30年以上の月日を経て、今では多くの木々が繁茂し、野鳥はもとより、多くの昆虫や両生類等も姿を見せるなど、都心にありながらも自然を満喫できるスポットとして、年間300万人以上もの来園者を迎えるまでになりました。カヌー競技場の整備予定地はその葛西臨海公園の中でも最も多様な動植物が生息するエリアであり、もし計画どおりに整備が進めば、都心にほど近い貴重な緑と動植物が大きく損なわれてしまいます。

日本野鳥の会では葛西臨海公園の貴重な自然環境を守るため、建設地の変更を求めて東京都と話し合いを重ねてきました。そしてこの問題について、先日の東京都知事選挙の際、日本野鳥の会より貴職を含む各候補者の方々に公開質問状を発信致しましたので、貴職におかれましても内容をご承知のことと存じます。しかしながら、現計画によれば葛西臨海公園へのカヌー競技場建設着工は2017年12月とされ、環境影響評価に要する期間や、詳細設計に要する期間等を考えますと、建設地決定までの時間的余裕はそう多くありません。

私たち日本野鳥の会は、2020年オリンピックの東京開催に反対するものではなく、IOCの理念に沿い、環境と調和した開催を支持するものです。

ついては新しく都知事になられた貴職に、この問題についての速やかなご検討・ご対応を期待すると共に、日本野鳥の会が問題解決に向けてご協力する道を開くため、あらためて別紙のとおり質問をさせていただきますので、ぜひご回答くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、この件について広く都民や国民の皆様に関心を持っていただけるよう、質問状及びご回答の内容を報道機関等に公開させていただく所存ですので、念のため申し添えます。

記

1. 質問事項 別紙のとおり
2. 回答期限・回答先 3月19日までに、当会あて FAX (03-5273-5142) またはメール (office@yacho-tokyo.org) でご回答をお願いします。

以上